

情報交差点・心と心の交わり

あじま〜

ソフトテニス 大宜味ジュニア大活躍



第42回全日本小学生選手権大会県予選

経験者クラス女子

優勝 上地琴子・平良梨央那**準優勝** 濱元朱莉・金城咲那**3位** 平良日渉・前原花咲 (one-stop ジュニア)

初心者クラス女子

3位 上地貴子・宮城丹那

経験者クラス男子

3位 當山翔愛・當山颯 (one-stop ジュニア)

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020

第31回宮城勉杯小学生大会

経験者クラス女子

優勝 上地琴子・金城咲那**準優勝** 濱元朱莉・平良日渉**3位** 平良梨央那・渡嘉敷花

初心者クラス女子

準優勝 名嘉美尋・上地貴子

大活躍！大宜味小学校女子ミニバスケットボールクラブ

第53回辺土名地区
ミニバスケットボール交歓会

女子4年生以下大会

優勝 大宜味小学校女子
“大宜味2”チーム

男子Aチーム

優勝 大宜味小学校男子

ハッスルプレーヤー賞 受賞

5年 吉濱心衣菜さん (Aチーム)**4年** 新城エレナさん**4年** 神里梨帆さん

4月26日（土）に沖縄県総合運動公園テニスコートにおいて行われた第42回全日本小学生選手権大会県予選、27日（日）に同会場において行われた第31回宮城勉杯小学生大会に大宜味ジュニア（大宜味小ソフトテニス部）の選手たちが出場し、素晴らしい成績を収めました。

5月17日（土）に東村営体育館において行われた第53回辺土名地区ミニバスケットボール交歓会では大宜味小学校ミニバスケットボールチームが大活躍し優秀な成績を残してくれました。

サーブ練習に力を入れ、試合では声出しを心掛けていたと話すソフトテニスのメンバー。両大会ともに優勝した上地琴子さんは「優勝できて嬉しかった」と喜び、ペアの金城咲那さんは「決勝戦は同チーム対決となり、大変だった」とふり返りました。

声掛け、シュート練習に精を出したミニバスメンバー。キャプテンの宮城生楽さんは「優勝できて嬉しい。勝てると思った」と笑顔。元気いっぱいの選手たちは次の大会に向け「もっとうまくなりたい。強い相手に勝ってみたい。そのためにシュート練習を頑張る」と意気込みました。今後も大宜味っ子の活躍にご注目ください。

たくましく育て！私のシークワサー 中1シークワサー苗植え付け体験

5月14日（水）、大宜味中学校1年生が総合の時間を活用し、大宜味村シークワサー産地振興協議会シークワサーコーディネーターの金城秀安さんを講師に迎え、シークワサー苗の植え付けを行いました。

始めに金城さんからシークワサーの起源について教えてもらい、シークワサーの両親となる種がどちらも大宜味にあることを学びました。金城さんは「大宜味村の山は宝物がいっぱいある。自然だけでなく、古い種が残っていることも世界遺産のひとつ」と伝えました。

その後、苗の植え付け。種から育てた苗を1本ずつ丁寧に取り分け、丈夫でまっすぐな苗を選んだら、根が真っすぐ埋まるように丁寧に植え付けていきました。

授業を終え、前田菜雪さんは「シークワサーに家族がいるということがわかった。私は『シークワサー』というものだと思っていたけど、色々と改良や変化していったシークワサーができたということがわかった」、山城八雲さんは「苗は根が柔らかくて折れやすいので気を付けて扱わなければならないことがわかった」とふり返りました。

金城さんは「今日の授業で子どもたちの中に何か1つでも心に残れば嬉しい。大宜味のシークワサーに関心と誇りを持つことで生産するだけではなく、地元からミカンの研究者になる人ができたらいい」と話しました。1年生が植えつけたシークワサーが大きく成長することを祈ります。



コミュニティ・スクールって何？ 大宜味村学力向上推進委員会総会・講演会



5月21日（水）、大宜味小学校多目的室において令和7年度大宜味村学力向上推進委員会総会・講演会が開催されました。

講演会では講師にCSマイスターの翁長有希さんを招き「コミュニティ・スクールでどんな「地域の未来」を描くか」をテーマに話をいただきました。

翁長さんは「コミュニティ・スクールは『地域運営学校』と考えてほしい」と話し、仕組みや役割を説明。校長という経営者のもと保護者代表、地域住民などが集まった経営陣が校長先生と一緒に学校運営を行っていくイメージを

持ってほしいと話しました。そしてすぐに理想の形にするものではなく、まず懇話会を開き、その中で「何のためにCSをやる（導入する）のか」じっくり話し合い目的を明確にすることが大切だと話しました。

講演会後は総会が行われ、令和6年度事業の成果と課題、今年度の活動計画について学習支援部会、社会力育成部会、学推事務局から目標や取組内容について報告があり、今後協力してほしいことなどについて参加者で確認しました。



祝！九州王者！全九州学生ソフトテニス大会優勝 福地想楽さん



5月2日（金）～7日（水）に熊本県八代市テニスコートにおいて行われた令和7年度第29回全九州学生ソフトテニス春季選手権大会、第51回全九州学生ソフトテニス春季リーグ戦大会、第69回全九州学生ソフトテニスシングルス大会に村喜如嘉出身で熊本学園大学4年の福地想楽さんが出場し、春季選手権大会でベスト16、春季リーグ戦大会で団体2位、シングルス大会で優勝し、九州王者となりました。

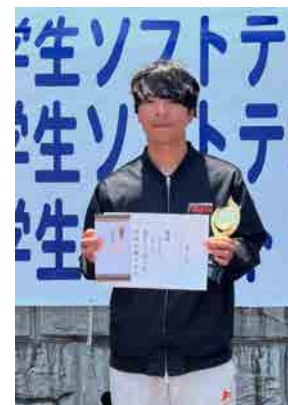
小学生の頃からソフトテニスを始めた想楽さん。これまで小学校、中学校、

高校でも各種大会で素晴らしい成績を収めてきました。

今大会の優勝に導いたものについて想楽さんは「今までは無理をしたプレイしていたけれど良い意味で楽に勝てるような場面を増やすために普段から基本を意識したプレイを練習した」と話し、九州王者になったことは「初めての個人での九州のタイトルだったので素直に嬉しかった」と喜びました。

今大会でインカレ出場の資格を獲得しました。インカレに向けて想楽さんは「ラストのインカレになるので結果にこだわっていききたい」と意気込みました。

想楽さんの活躍を村民挙げて応援しましょう！



祝！優勝 平良栄棋さん（北中城高）高校総体県大会 自転車競技



5月17日（土）～19日（月）、県総合運動公園自転車競技場において先行開催された令和7年度 沖縄県高等学校総合体育大会第41回沖縄県高等学校自転車競技大会に村喜如嘉出身で北中城高校2年の平良栄棋さんがケイリン、団体チームスプリント、4km速度競走に出場し、ケイリンで2位、団体チームスプリント、そして4km速度競走で見事優勝しました。

中学校まで野球に明け暮れていた栄棋さん。毎年開催される「ツール・ドおきなわ」を見学したことがきっかけで自転車を始め、北中城高校に進学、自転車部に入部しました。1年生の頃からめきめきと実力をつけていき、高校総体という大きな場での素晴らしい結果に繋げることができました。

大会を終え、栄棋さんは「同じチームにもすごい選手がいるのにまさか優勝できるとは思わなかった」と話し、6月6日から始まる九州自転車体育大会に向け「結果を残せるよう頑張りたい」と意気込みました。

大宜味村役場旧庁舎内部公開 Day!!!



今からちょうど100年前、大正14年（1925年）5月23日に現重要文化財（建造物）大宜味村役場旧庁舎の落成式が執り行われました。

落成式の日に合わせて5月23日、「大宜味村役場旧庁舎内部公開 Day!!!」として1日限定の内部公開と展示会を開催しました。午後には木下義宣氏による解説案内も行い、80名を超える見学者が訪れました。

100周年という記念すべき年に改めて文化財としての価値を確かめ、村民に愛される大宜味村役場旧庁舎となるよう、年間を通して記念事業や催し物を計画していきます。

仲間を作ろう♪ ～ 令和7年度わんぱく体験団 第1弾「わんぱく万博 EXPO 2025」

5月24日（土）、旧大宜味小学校体育館において令和7年度わんぱく体験団①「わんぱく万博 EXPO 2025」が行われました。

今年度は4年生から6年生まで21名の団員が集まり、そしてなんとわんぱく初回となったこの日、21名全員が出席。欠席者が誰もいないなんて初めてのことで、幸先の良いスタートを切ることができました。

1回目の活動の目的は「仲間を知ること」。ということで、毎年のことになりますが、スポーツして体を動かして、みんなでわちゃわちゃして仲良くなっちゃおう！ それではわんぱく万博始まりです♪



軽いレクで気持ちがほぐれたら、次は班の名前決め。毎年個性的な名前が誕生します。今年の班は?? 「わんぱくジョーダン」、「チームしゅん」、「プッチンプリン大統領」、「チーム多洋性」の4班です。名前の理由は履いていた靴からとかチームにいる人の名前を採用など様々。今年もいい名前。体も気持ちも何となく温まってきました。準備は整った、最初の種目、ソフトバレーボール、スタートです。



午前中はソフトバレー、ドッジビー、フリースローで体を動かし、お昼ご飯でエネルギーをチャージしたら、午後は5色つなひき、しっぽとり。両競技とも速さはもちろんですが、どう攻めるか重要なポイントになります。班でじっくり作戦を練って相手チームを欺きます。

頭も体もめいりっぱい使ったわんぱくたち。さてさて気になる結果は??

後半のしっぽとりで得点を伸ばした（この班にはどこも勝てなかった…）チーム多洋性の優勝!!!

実は僅差の勝利。どの班も頑張りました！ いい仲間ができたね。このメンバーで1年間楽しく活動していこう!!



巣箱を作って ホントウアカヒゲを呼ぼう♪

4月27日（日）、旧大宜味小学校つどい室、5月10日（土）、大宜味村役場において令和7年度ぶながやの里生涯学習講座①「ホントウアカヒゲを呼ぼう♪」が行われました。

今年2月に村の鳥として新たに加わったホントウアカヒゲ。鳥界のトップシンガーと名乗れるほどきれいな声でさえずります。なかなか姿は見られないけれど実は私たちの身近にいる鳥。そんなホントウアカヒゲのために住むところをプレゼントしよう！ ということで、みんなで巣箱を作り、設置します。

1日目は巣箱づくり。今回の講師、国指定屋我地鳥獣保護管理員の渡久地豊さんからホントウアカヒゲがどんな鳥かどんな魅力があるかなどお話を聞きます。次はいよいよ工作の時間。板をそれぞれのパーツに切り、ビスで止めていきます。のこぎりやインパクトを初めて使う人もいますが、家族やスタッフに教えてもらいながら作業を進めます。

巣箱ができたら焼き目をつけて、絵や文字を書いてマイ巣箱の完成です。

5月10日（土）、2日目は巣箱の設置。巣箱にひもを通し番号をつけたら、役場裏へ。場所と木を選んで巣箱の向きや高さに気を付けながら8個の巣箱を取り付けました。

みんなが取り付けた巣箱。ホントウアカヒゲが気に入り利用してくれることを祈ります。



戦争資料展のお知らせ

繋ぐ命 繋ぐ記憶

期間：令和7年6月11日（水）～6月25日（水）

場所：大宜味村役場 一階 ギャラリースペース

内容：写真・年表・体験者が描いた沖縄戦の絵・証言（印字）
沖縄戦新聞・関連書籍・物（水筒、突撃ラッパ、千人針など）
大宜味村戦争体験者の語り映像 上映予定

お問い合わせ：大宜味村図書室 0980-44-3009

沖縄戦が終結して80年がたった今

戦争を知らない私たちに来ることは 関心を持つこと

そして、次世代へ語り継ぎ、子や孫へ記憶のバトンを繋ぐこと

図書室情報

No.70 2025年（令和7年）6月

大宜味村図書室（旧議会棟）
大宜味村字大兼久 157 番地 0980-44-3009

新着図書

『わたしが「わたし」を助けに行こう』橋本翔太 / 著 サマーク出版
『3つの体液を流せば健康になる』片平悦子 / 著 三笠書房

寄贈図書

『働きつづけ学びつづけて』多喜美枝子 / 著（村出身）新星出版
『喜如嘉の芭蕉布保存会 50 周年記念事業 記録冊子』
『るるぶ和歌山 '25』『るるぶ四国 '25』 など



新しく入った県立図書館の本
ほかにもあります♪

6月図書室カレンダー 閉室日：

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

5月の統計（5/26まで）

○来室者数…のべ76人

○貸出冊数…88冊

現在の蔵書数…8,936冊

利用状況累計（2019年9月～）

○来室者数…のべ4,051人

○貸出冊数…6,638冊

○登録者数…191人



6月23日は慰霊の日です。

図書室内にて戦争資料コーナーを設けています。
ぜひ足を運びご覧ください。

譲渡本まだまだあります

大宜味村民・村内の各種団体のほか、村図書室の図書貸出カードをお持ちの方へも譲渡いたします。もらう冊数・回数の制限はありません！！希望者は申込書を記入し、持参された袋等に入れてお持ち帰りください。

無くなり次第終了となりますので予めご了承ください。

※譲渡資料の転売・換金など営利目的での
持ち帰りはご遠慮ください。



大城信利さんより大宜味村に絵画作品 19 点の寄贈

大宜味村塩屋出身の大城信利さんより絵画作品 19 点が大宜味村に寄贈されました。大城さんは 2005 年に高校教師を定年した後、絵画をはじめ、多くの賞を受賞しており、「多くの皆さんに絵をたのしんでもらえたら」と思いを語りました。

寄贈された作品は、大宜味村教育委員会、大宜味村図書室、大宜味小・中学校、一心福祉会に展示されています。大宜味村図書室ご利用の際はお気軽にご覧ください。

大城信利さんこれまでの受賞例

2009 年 第 1 回かりゆし美術展 最優秀賞受賞

2010 年 第 2 回かりゆし美術展 最優秀賞受賞

2011 年 県展入選（以降 4 回）

2012 年 第 64 回沖展入選（以降 7 回入選）



令和7年度海外短期留学合同オリエンテーション開催！

5月25日（日）、中城村吉の浦会館にて「令和7年度海外短期留学合同オリエンテーション」が行われました。

県内の8市町村の中学生・高校生が参加し、7月の短期留学に向けて意気込みを高めました。

大宜味村からは短期留学生として大宜味中学1年生の前田菜雪さんと2年生の大湾光さん、そして卒業生の名護高校3年生の宮城泰斗さんが参加します。



大宜味村児童生徒等県外派遣に関する補助金交付事業について お知らせ

大宜味村教育委員会では、県外で開催される運動競技または文化活動における大会等へ、代表として参加する際の派遣に要する経費を補助します。

（対 象）①大宜味村立の小学校及び中学校に在籍する児童生徒

②大宜味村内に住所を有する高校生

③大宜味村内に居住する者の子及び被扶養者で大宜味中学校を卒業し高校の修学中のもの

（交付額）予算の範囲内において航空運賃に係る5割を交付する

（申 請）大会等が開催される10日前までに教育委員会に提出をお願いします。

《令和6年度実績》

①派遣人数（30名） ②助成額（457,000円） ③大会数（全国：6大会、九州：5大会）

【お問合せ先】 大宜味村教育委員会（担当：島袋）TEL0980-44-3006





政信教育長のあじま～コラム

「コミュニティスクールについてその1」

先月21日に実施した村学力向上推進総会で、文部科学省委託CSマイスター翁長有希氏に「地域の未来を作る人材を育てるコミュニティ・スクール」という演題で講話をしていただきました。今年度の村教育委員会教育行政施策の重要事項は、次年度、設置をめざしている学校運営協議会（コミュニティ・スクール：以下CS）に向けての取組です。

何か新しく事を始める際、問われるのは「なぜ」と「納得感」だと考えています。「なぜ今、CSを設置する必要があるのでしょうか？」この、「なぜ」という目的がはっきり説明できて、かつ、受け取る側に「納得感」があると、動きが加速されます。教育委員会としては、今年度、学校、保護者、地域の方に「納得感」が得られるような取組を推進していきたいと考えています。その一環が今回の講演会でした。今後、設置に係る懇話会を実施し、そこで熟議を重ね、その取組状況を伝えていきたいと思っています。重要事項なのでこのコラムも時折CSについての情報等を提供していきます。

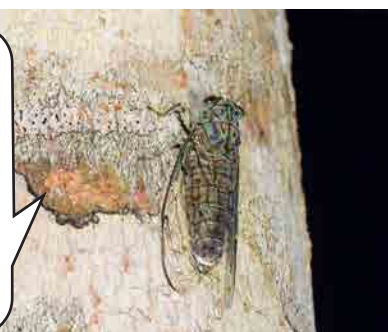
さて、「なぜ」に対する考えは、地域にある学校は、学校だけが地域の子育ての当事者ではなく、家庭、地域も地域の子育ての当事者の一人として責任を共有する必要があること、また、自然災害への対応、SDGsにも示されている多様性の尊重、GIGAスクールの導入、教員の働き方改革など、学校を取り巻く課題は、多様かつ複雑に山積していて、これからの時代に対応した学校教育を進めていくためには、学校や教職員だけでは限界があり、外部関係者の力を借りなければならない状況にあること、さらに、子供たちに求められている「自立した学習者」育成のキーワードとなる探究的な学習の総合的な学習の時間は、特に、地域の方や外部専門家の協力が不可欠であることなどが挙げられます。

近年、国、県でもCSの導入が急速に増加傾向にあります。しっかり制度を整えていきたいと思っています。

今月の生きもの

オキナワヒメハルゼミ：セミ科

こんばんは。私オキナワヒメハルゼミです。先月号に続き、2月続けてのセミです。ウィーン、ウィーンやヴィーン、ヴィーンと聞こえる声で鳴きます。周囲の明るさに敏感で、晴れの時より曇った時の方が大合唱になります。特に夕方の大合唱は森全体がうなるような感じに聞こえます。森をうならせちゃうそんな私たちですが、みんなが思っているセミのサイズより小さく高い場所にいます。なので私たちを見つけるのは難しいかも…。鳴き声だけ楽しんで♪



撮影：村山望

6月の行事予定

- | | |
|------------------|------------------|
| 1日（日）地区中体連（2日目） | 18日（水）学校訪問（こ・給セ） |
| 2日（月）区長会 | 20日（金）学校訪問（中） |
| 7日（土）地区中体連（3日目） | （園）弁当会（4・5歳児） |
| 8日（日）日曜授業参観（小・中） | 23日（月）慰霊の日 |
| 9日（月）振替休日 | 24日（火）学校訪問（小） |
| 13日（金）（園）保育参観日 | 26日（木）定例教育委員会会議 |
| | 28日（土）わんぱく体験団② |

6月26日



雷記念日

6月からプールが始まります。先日プール掃除をしましたが、あっという間に日焼けしてしまいました。足の甲は島草履の痕がくっきり…(T_T) どうやって戻そう…。A部分だけ開いた靴下ないかな。夏の日差しをなめちゅいけません。